

第9期介護保険事業計画における保険給付費等の推計について

第8期計画では、本市の65歳以上人口を125,195人(3年間累計、以下同じ)と見込み、高齢化率は、23.7%(3年間平均、以下同じ)と推計していました。第8期計画期間の実績見込みでは、65歳以上人口は124,517人、高齢化率は23.7%です。

第9期計画では、65歳以上人口を127,343人、高齢化率を24.1%と見込んでいます。第8期計画値との比較では、65歳以上人口が2,148人、1.7%の増加となり、高齢化率も0.4ポイント増加し、今後も高齢化が進んでいくものと推計しています。

このような状況を踏まえ、また施設サービス及び地域密着型サービスの整備計画を勘案しサービス見込量を推計しました。

〔保険給付費の推計〕

1. 第1号被保険者数及び認定者数の推計

「習志野市人口推計結果報告書」(令和元年6月作成)を使用

(単位:人)

	R4(実績)	R5(見込)	R6(推計)	R7(推計)	R8(推計)
被保険者数	41,443	42,016	42,248	42,422	42,673
認定者数	7,732	7,924	8,090	8,301	8,543
認定率	18.7%	18.9%	19.1%	19.6%	20.0%

2. 保険給付費の推計値

第9期計画の保険給付費については、第8期計画から引き続き、計画期間における要介護認定者数や利用者数の伸び、サービス利用実績を踏まえた推計を「自然体推計値」として、これに施設整備予定分を勘案することで算出しています。

416億8千万円(保険給付費)

$$\begin{aligned} &= 409億2千万円(自然体推計値) \\ &+ 7億6千万円(施設整備予定分) \end{aligned}$$

なお、国から、令和6年度の介護報酬改定率は+1.59%であり、第9期計画期間への影響は+1.54%であることが示されています。これらを踏まえ、介護報酬改定の影響額は、保険給付費416億8千万円のうち、6億3千万円と見込んでいます。

3. 保険料基準額の算定

令和6年度から令和8年度までの3年間で推計した保険給付費416億8千万円と地域支援事業費21億9千万円を合わせた438億8千万円をもとに保険料を算出します。

また、保険料の急激な上昇を抑えるため、介護給付費準備基金を5億円繰り入れることとします。本来、第9期計画における保険料基準額(月額)は6,453円となるところ、介護給付費準備基金の繰り入れにより、310円抑制され、結果、6,143円となります。

第9期保険料基準額	月額6,143円
第8期保険料基準額	月額5,381円と比べて、
	+762円(+14.2%)

介護給付費準備基金

令和5年度末残高見込	8億3千万円
第9期計画繰り入れ予定額	5億円
(保険料抑制効果額)	月額310円)